

# 再会し、新しく出会う同窓会

## いつも心に館歌を



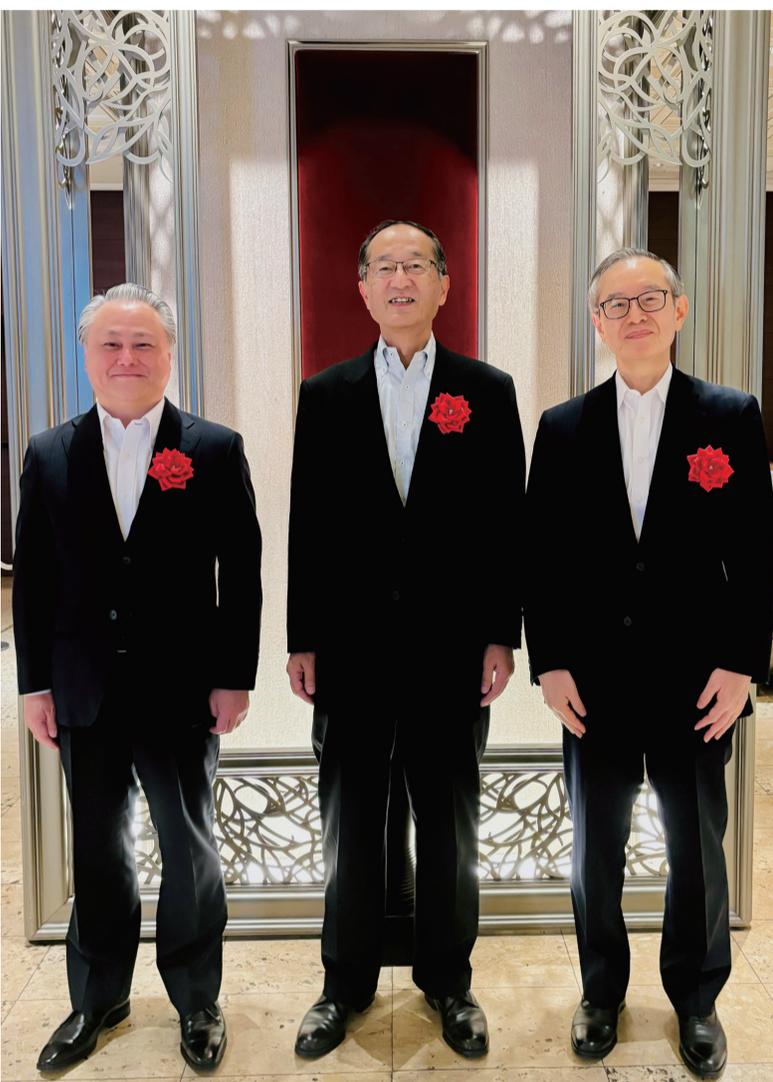
東京修猷会同窓会  
東京支部事務局

〒185-0034  
東京都国分寺市光町 2-14-85  
(有)パルティール内  
FAX 042-573-5060  
東京修猷会ホームページアドレス  
<https://www.shuyu.gr.jp/tdky/>

館友の健勝を喜び、館歌を合唱する同窓会。ここでは加藤純一副会長のコーディネートで、等健次会長、鈴木俊彦副会長に、社会に出てからの館友との出会いや、修猷の繋がりに開ける未来についてお話しいただいた。

**加藤純一副会長** 本日の鼎談のテーマとして編集部が上げてきたのは「未来のために、繋がりを結ぼう」という昨年の東京総会が掲げたスローガンでした。ここでは、修猷生であることを、在学中そして卒業後にどう感じてこられたのかをお二人に伺います。同窓会活動では「現役の時には付き合いがなかったけれども、卒業後10年20年経って交流が深まった」といった経験が、あるかと思いますが、具体的なエピソードを頂けますか。  
**等健次会長** 我々の学年は521人、女子は93人。私は1年と3年が男クラでした。私は合唱部でしたが、クラブやクラス以外の同期と話す機会は限られていました。卒業後も交流はあまりありませんでした。

の参加者がいた総会が、バブル崩壊で2000人台にまで減って大赤字。早速同期に声をかけ、その秋から月に1回、15名ほどが八重洲の貸会議室に集まって協議を始めました。まず、それまで土曜の夕方



左から鈴木俊彦副会長(昭和53年卒)、等健次会長(昭和45年卒)、加藤純一副会長(昭和51年卒)

ました。顔は知っていても話したことがない同期と、45歳にして再び運動会の準備をするようでした。  
**鈴木俊彦副会長** 幹事学年になって久しぶりに皆で顔を合わせる、これはなかなか良い仕組みだと思います。準備のために集まって、なんだかんだと話し合う。やがて「本番まで時間がないぞ」なんて焦るのだけれど、何を言われなくても、それぞれが計ったように動き出して大成功させる。私も総会の幹事学年を担

4時から開催していた総会を、会社帰りに立ち寄りやすい金曜日の夕方6時スタートに。1万円超だった会費は8千円に。会場はドラフト会議で有名なホテルグランドパレスから、安くても見栄えのする如水会館に。会場が狭いとか、夜は主婦が家を出にくいとか反発もある中、どう先輩たちを説得しようかと議論し

とができるように思います。これはなかなかできないことです。私はずっと会社経営に携わってききましたが、全体像が分からないか、分からない振りをして、自分ひとりの仕事しかしない人が多いようです。  
**仕事のステークホルダーが館友だったら**

当してから付き合いが深まって、今に至るまで続いていきます。  
**加藤** いざ幹事の番がくると、それぞれ役割を自覚してしっかりやる、そして最終的に全体ができあがってくるのですからね。  
**等** 修猷生は、全体像がわかり、目標がわかり、自分の役割がわかって、務めを果たすこ

キー」と思いました(笑)。とにかく「修猷出身」と聞けば、基本的な信頼がある。お互いに疑わなくて済むから、仕事ですぐに本題に入れる。これは有難い話です。  
**加藤** 信頼できる人と話せば、すべてが思い通りにいかなくても納得できますよね。  
**鈴木** 私は、これまで沢山の方々との御縁を得て今日まで至っていますが、特に修猷の繋がりに忘れられないものが多いです。まず厚生省に入る前年、官庁訪問で人事課長にお会い

があつて良かったと感じた経験はありますか。  
**等** バブル後、海外ファンドに雇われて地方銀行を再建する、いわば雇われ経営者をやりました。再建計画を認められて金融庁から銀行免許が下りると、近畿財務局に年に2回業績報告に行くのですが、そこにいたのが近畿財務局長谷川浩道さん(S47卒)。「ラッ

して仕事が進められました。総理官邸に勤めていた頃、小川洋さん(故人、S43卒)が内閣官房の要職におられて、その後も官邸案件ではいつも気にかけて下さった。心強いし有難いなあと思いました。ちょうどその頃、前会長の伊藤哲朗さん(S42卒)が内閣危機管理監に御在任でした。  
**加藤** 厚労省の3年後輩には土生栄二君(S56卒)▼8頁に「星を集めて未来を照らす」(ハイアットリージェンシー東京)午後6時より  
**7月** 10日(木) 二木会  
於：グラントヒル市ヶ谷  
**9月** 6日(土) サロン・ド・修猷  
於：グラントヒル市ヶ谷  
**10月** 15日(月・祝) 二木会ゴルフコンペ  
9日(木) 二木会  
於：グラントヒル市ヶ谷  
**11月** 30日(木) 秋期常任幹事会  
13日(木) 二木会  
於：グラントヒル市ヶ谷  
**12月** 11日(木) 二木会忘年会  
於：未定

なりました。  
**日経新聞の論説委員をされた渡辺俊介さん(S38卒)**には、私が駆け出しの頃からずっとご指導いただいていたし、保険局長として医療保険の仕事に関わった時は、日本医師会会長として横倉義武さん(S38卒)がおられました。先輩がおられると何故か安心

した(笑)。  
**加藤** 思わぬ所で思わぬ繋がりに出会う、ということはありますね。  
**鈴木** ええ。少子化対策の審議官を務めていた時、保育の問題が政権の最重要課題に浮上して、官邸に設けられた産業構造改革会議で議論されましたが、武田薬品の社長をされていた長谷川閑史さん(S40卒)が会議の座長でした。案件が全部片付いた後で、長谷川さんに実は同窓ですと申し上げたら、「なしてお前それ早よ言わんや」と(笑)。修猷だからといって、決して楽な取り回しをしていただけのわけではありませんが、こちらは勝手に「先輩だなあ」と思っ

東京修猷会2025年  
活動スケジュール

※各日程・場所は予定であり、変更になる可能性があります。  
※二木会講演は6、8月を除く毎月第二木曜日に開催。

1月 元旦 会報発行  
(住所登録済の全会員に送付)

2月 9日(木) 二木会  
於：グラントヒル市ヶ谷

3月 13日(木) 二木会  
於：グラントヒル市ヶ谷

4月 27日(木) 春期常任幹事会  
10日(木) 二木会(新人歓迎会)  
於：グラントヒル市ヶ谷

5月 20日(日) 二木会ゴルフコンペ  
8日(木) 二木会  
於：グラントヒル市ヶ谷

6月 13日(金) 総会「テーマ」星祭  
星を集めて未来を照らす  
於：ハイアットリージェンシー東京  
午後6時より  
(幹事学年は平成10年卒)

7月 10日(木) 二木会  
於：グラントヒル市ヶ谷

9月 6日(土) サロン・ド・修猷  
於：グラントヒル市ヶ谷

10月 15日(月・祝) 二木会ゴルフコンペ  
9日(木) 二木会  
於：グラントヒル市ヶ谷

11月 30日(木) 秋期常任幹事会  
13日(木) 二木会  
於：グラントヒル市ヶ谷

12月 11日(木) 二木会忘年会  
於：未定

館歌のような人生に

加藤 ここで、「言葉」というテーマに移りましょうか。館友からの言葉、あるいは修猷館時代に触れて今も忘れられない言葉というのがあれば教えてください。

等 3年生の時、担任が古文の小柳陽太郎先生で、当時ご自宅を開放した輪読会で『論語』などを読んでいました。「吾日に三たび吾が身を省みる。人の為に謀りて忠ならざるや」(論語曾子)……これは常々思い出す言葉です。

加藤 会社の再建は簡単じゃありません。赤字が続けば人員整理も考えなければならぬ。社長というのは本当に孤独です。自分がやるうとしていることが正しいのか、特に「忠ならざるや」私心がないかどうか。かっこよすぎるとも思えないけど、自分の欲を脇に置いて、常に会社のため、従業員のために頑張っているかと自問したものです。

鈴木 私は、館歌にある「質実剛健」という語が好きで、自分のコアにある言葉の一つです。気持ち折れそうな時に思い出すと、背筋が伸びます。

等 館歌の歌詞は、大事なところが凝縮されている気がしますね。国のため世のために頑



加藤副会長



鈴木副会長

張れ、いろんな所で頑張れ、と。

加藤 まったく同感です。実行するのは難しいですが、あの歌詞の通りに生きることができたら本当に素晴らしい。

鈴木 山あり谷ありの中にあっても、ふと思いついて奮起させてくれる歌詞とメロディですね。こんな館歌を歌える高校で幸せだな。

加藤 私は同学年で早逝した友人がいます。一度も同じクラスにならなかったのですが、文化祭の運営をやった時に手伝ってくれてからずっと付き合いがありました。その彼が、私が上京する時「どんなに離れていても、お前が困ったら助けに行くからな」と言ってくれた。この言葉が、その後の私の人生でものすごく力になりました。

鈴木 事務次官を拝命した時、同期のみなさんが祝賀会をやってくれました。これは本当に嬉しくて一生忘れられない思い出です。この時ある友人が「ずっと見とったけど、お前ずっと大変なことばっかりやらされとるなあ」と言ってくれて。見てくれていたんだ、心が繋がっているってこういうことなんだ、滅多なことでは掛け合いかなんと思いません。こういう心に沁みる言

同窓会は若人を照らす

加藤 鼎談の最後に、未来のある若い人たちにに向けて、力づけるメッセージをお願いします。

等 自分の目で見て耳で聞いて、自分の道を見つけること。館歌に「海の内外陸の涯」とあるように、国内にも海外にも学び、人生における判断の基礎にしていってほしいです。

また言語だけがコミュニケーションのツールじゃない。得意なことを何かひとつ、きちんと身につけることも大切です。私の場合は趣味である歌に



等会長

ずっと助けられてきました。鈴木 現役の修猷生であるのはたった3年間。でも一生のバックボーンになるものがある時期だと思えます。社会に出るといろいろと思いがちですが、どんな道であれ、使命感と責任感をまっとうできる仕事と出会えば幸せなことだと思います。ぜひ今の一日一日を大切に過ごしてほしいです。

等 彼らに光を与えるのが同窓会の務めです。情報があっても動くかどうかは本人次第ですが、勇気を出して先輩たちの戸を叩いてほしいですね。

2024年 二木会

Table with 3 columns: Session No., Title, and Speaker/Topic. Includes sessions 679-687 and 689-690.

館友の皆さま！ お問い合わせになって奮ってご参加ください！

東京修猷会 URL https://shuyu.gr.jp/tky/

第17回 \*Salon de 修猷\* ピアノdeオペラ

17回目となるサロン・ド・修猷は、現存の学士会館で開催する最後のサロンというところで、歴史や伝統を楽しむ「オペラ音楽」の宴を企画しました。出演は、東京二期会や様々な団体のオペラ公演などで活躍のピアニスト巨瀬励起さん(平成8年卒)と、BS番組などでも活躍のソプラノ歌手・吉田明未さん(平成21年卒)。

の素敵なピアノ演奏で、会場は大きな感動に包まれました。そして最後は、有志合唱メンバー38名と吉田さんによる「筑後川(河口)」で圧巻のフィナーレ！ 続く「館歌」は巨瀬さんのピアノに乗せられていつになく美しいハーモニーで会場が一体となり閉幕しました。



古賀静華 平成8年卒・平八会

みんなのおかげで、1年間の二木会運営をなんとかやり遂げることができました。最後まで根気強く導いてくださった皆様、ご参加・ご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。



昨年9月、学士会館での最後のサロン。古澤さんに感謝を伝えるサロン四姉妹。

東京修猷会 二木会ゴルフコンペ

第53回二木会ゴルフコンペを、成田市『グリッサンドゴルフクラブ』にて開催しました。今回は48名の募集枠に対して48名の皆さんにお申込みいただき、S37年卒からH10年卒、初参加9名と、世代を超えて大いに盛り上がりました。

栄えある優勝は初参加の石蔵利幸さん(H5)、準優勝は岩永丈哉さん(S47)、第3位は磯部悦子さん(S59)。男子ベスコロはクロス78で田中昭人さん(S56)が、女子ベスコロはクロス97で磯部悦子さんと中野朋子さん(H6)が、それぞれ栄冠を獲得されました。ニアピン賞は福田聡太郎さん(H5)、小野顕さん(H2)、濱邊和輝さん(H7)、田原光晃さん(H2)、ドラコン賞は松



伏見隆太郎・南部芳子(平成9年卒・九猷会)

昭和61年7月、二木会が学士会館に会場を移した際、支配人が東京修猷会を託したのが古澤里美さんでした。以来、昨年の休館まで、何代もの館友の無茶を一手に引き受けた古澤さんにお話を伺いました。

東京修猷会のイメージは

仲が良いの一択！ 明るく元気で集客力が素晴らしいです。

二木会の良き思い出は

講師・神田紅さん(S46)の釈台を幹事学年と作った時は、ドタバタの大騒ぎでした(笑)。 学士会館のサロンで特に思い出されるのは

宇佐元恭一さん(S53)の歌声と料理長に博多うどんを作らせたこと！

コロナ禍のリモート宴会に感心し、入江信吾さん(H7)の映画『なつやすみの巨匠』では号泣しました。

思い出が尽きないと仰る古澤さん。我が聖地・学士会館の守護神として、共に歩んで下さり有難うございました。また、お会いしましょう。



きゅう  
**九**



ゆう  
**結**

### ～未来のために、繋がりを結ぼう～

令和6年6月14日(金) / 於:東京プリンスホテル

福岡を巣立ってまもない18歳、人生の大半を東京で生きるベテラン——今年も東京総会は、みな等しく「館友」に返り館歌を盛大に響かせた。久々のホテル開催とあって会場は華やぎ一色、仰ぐ空には東京タワーだ。



## 平八会のデザインを継承 物販も「繋がり」ました

前回の総会で、瞬く間に完売した檜のコースター。プロのデザイナー國分聖さん(H8卒)のシックな六光星デザインと高い実用性で、終売後も話題に上ることが多かった。このまま眠らせてはおけない!と、今回はコースター



はもちろん、コーヒーのパッケージ、またアレンジして手ぬぐいにも展開。平八会の計らいで、一部はアメリカ研修(6頁参照)の手土産にも採用された。コースターは今年5月の福岡総会でも販売される。

また、会費の改定についても議論を重ね、総会の持続可能性を考慮し、今回は会費を引



再検討を行い、最終的に東京プリンスホテルとなりました。ここ数年、総会はオンラインやハイブリッド形式で開催されてきましたが、今回は完全にリアルな会場での開催に戻りました。会場選定に際しては、コロナ前に利用していたホテルの条件が大きく変わっていたため、ゼロベースで再検討を行い、最終的に東京プリンスホテルとなりました。

令和6年6月14日、東京プリンスホテル鳳凰の間にて、東京修猷会総会を無事に開催いたしました。総勢441名もの方々にご参加いただきました。テーマである「九結(きゅうゆう)〜未来のために、繋がりを結ぼう〜」は、修猷館で築かれた深い絆を、未来に向けてさらに強固にしていこうとを象徴しています。

最後に、今回の総会が無事に開催できましたのも、支えてくださった同期の皆様、そして先輩・後輩を含むすべての館友の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

総会実行委員長  
**竹野 耕平**  
(平成9年卒)

先輩方、東京修猷会総会を開催していただきありがとうございます。4月に東京に進学して、まだ多く不安もある中で、様々な先輩方のお話を伺えて、とても刺激になりました。上京以来、同世代の修猷の友人に会うことはあっても、中々これまで様々な世代の先輩方とお

吉村 英朗  
(令和6年卒)

九猷会の皆さん、東京修猷会総会の開催、お疲れ様でした。前年に続き、館友同士が直に集い、旧交を温める、今年のテーマ「九結」が伝わる素晴らしい総会でした。9月には、恒例の東京総会

の歴史実行委員長の会が開催され、甲畑真知子さん(S44年卒)を中心に、S57年卒以降の面々が集いました。当年の実行委員長を労うと共に、次なる実行委員長の福島直央君(天猷会)に、各代がアドバイ



写真は大学の学園祭の委員会で仕事をしている時のものです。修猷での大文化祭副運営委員長に引き続き、今も行事運営に携わっています。

2014年東京総会 実行委員長  
日野 慎二  
(昭和63年卒・睦(六三)会)

そのマンネリを壊したのがコロナ禍でした。コロナ以前の幹事学年の総会準備としては、学年企画に集中し、会場・会費・式次第等は、前年までの実績を踏襲することができ

ながら、「ああ修猷生でよかった!」と喜べました。今年も楽しみです。

私は「同窓会というのは偉大なマンネリだ」と思っています。毎年同じ頃、同じ場所、同じメンバーと会え、同じような話題で盛り上がるのができるという「変わらない良さ」です。

おかげで、また以前のような総会ができるようになったことに安堵しました。年代の違う同窓生とも話が

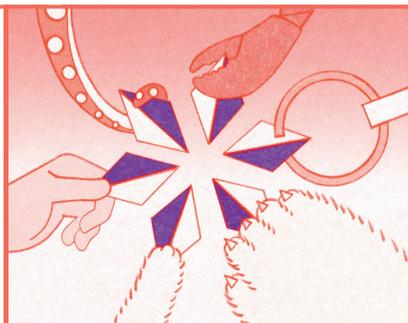
東京修猷会 監査役  
広瀬 豊  
(昭和43年卒)



東京総会にて (写真中央が筆者)

## 星を集めて 未来を照らそう

すべての思い出と可能性へ  
修猷は卒業してからのほうが長かけん  
ただ集まるだけじゃ もったいなかけん  
6月13日 あの頃とこれからを持ち寄って  
浸ろう 語ろう 企もう



**星祭**  
ほしまつり  
TOKYO 2025  
6月13日(金)

## 令和七年度 東京修猷会総会

西新宿  
ハイアット リージェンシー 東京にて

幹事学年:平成10年卒 天猷会  
お問い合わせ:tokyo.ten.you.kai@gmail.com



天猷会 HP

# 九結を生きる人たちが活動中



仕事、趣味、応援——真剣に面白く生きる館友たちに、その情熱を「九結」のエレメントに絡めて語ってもらった

小島康介 (平成9年卒)

数学が不得意だった学生時代の小島さん。苦  
手教科の克服を語る大人に、内心で猛反発し  
ていた。それが今では、数学講師で塾の社長。  
その道のりは?

## 知

漠然と「教育に携わりたい」と  
考えて九州大学教育学部に入学。  
母子2人だけの生活だった我が家  
は決して裕福ではなく、授業料を  
稼がねばと、求人雑誌で見つけた塾「九大進  
学ゼミ」で、得意教科だった国語の講師とし  
てアルバイト生活をスタートした。

ところが「感覚的にわかっていることを、具  
体的に教える」ことが非常に難しい。授業アン  
ケートでもなかなか良い評価を得られず、与え  
られるコマが少ないものだから、学費をまかな  
う稼ぎにもならない。当時の塾長に辞意を伝え  
たところ、「だったら数学の授業もやってみな  
いか?」と勧められる。学生時代の私にとって  
苦手科目は英語(高校時代は100点満点中16点  
の記録アリ)で、その次が数学(同200点満  
点中40点。「どんな提案や!」と思ったが、頼  
まれると断れない性格ゆえ引き受けることに。  
実際に数学の指導を始めると、意外なこと  
に、生徒の反応が良く、「国語よりもわかりや  
すいっす」と言われることもしばしば。嬉しい  
ような悲しいような気持ちを抱いていたその  
年、塾内トップの成績を誇る生徒から「先生の  
図形の板書を見て「これはいいな」って思い  
ましたよ、僕は」  
と評価され、飛び  
上がるほど嬉し  
かったのを覚えて  
いる。その後、修  
猷館に合格した  
原野くん、今どこ  
にいますか? 君  
の、上から目線コ  
メントが、私の人  
生を大きく変えま  
したよ(笑)。



教える仕事の魅力に気づいた私は、そのま  
ま九大進学ゼミに入社し、気づけば代表取締役  
として会社を背負うまでになった。塾生も1万  
名を超え、それぞれの家庭の宝物をお預かりし  
ているのだと思うと、責任の重さを痛感する。  
人生においては誰かのほんの一言が、大きな  
きっかけにもなり得る。そんな一言を子どもた  
ちに与えられるよう、社員とともに教育道に進  
進していく所存だ。

(株式会社さなる九州代表取締役社長)

田中泰弘 (平成12年卒)

メダリストの陰に、柔道部  
OB会あり! 大舞台に臨  
む瀬戸選手を、応援団はバリまで追いかけた。  
修猷史に残るあの熱狂が観戦記でよみがえる。

## 世

「ゼーの、勇次郎いくぞー」  
せーの、勇次郎ファイター」  
令和6年9月6日、フランスの首  
都パリにあるシャン・ド・マルス・  
アリーナに声援が響き渡った。平成30年卒、瀬  
戸勇次郎が2024パリオリンピック柔道決  
勝の暈に向かう中の光景だ。「修猷魂」と書かれ  
た日章旗と  
共に、館旗六  
光星もスタ  
ンドで翻り、  
弱視の勇次  
郎にもきつ  
と修猷応援  
団の勇姿が  
届いていた  
と思う。



金メダルの入った袋と筆者。  
畏れ多くて直接触れなかった。

結果は見事金メダル! 表彰台で涙を流す勇次  
郎が会場の大画面に映ると我々もこらえきれな  
くなり、皆で斉唱した君が代は一生の思い出と  
なった。  
創部130周年を迎える修猷柔道部のOB・  
OG会である修猷館柔道倶楽部の結びつきは非  
常に強く、世のため人のために尽くす幅広い世  
代の館友が今でも  
修猷館の柔道場に  
足を運ぶ。  
世界に羽ばたく  
勇次郎の支援は東京  
2020の前から続  
けているが、諸先輩  
方が築き上げてく  
ださった130年とい  
う歴史があつてこ  
ろ実現できていると思  
う。



瀬戸選手を囲んで。日章旗を掲げる筆者。

勇次郎とは、金メ  
ダルをとったら皆で  
館歌を歌おうと約  
束をしていたのだ  
が、当時の興奮と  
熱狂の中ですっか  
り忘れてしまった。  
日本での祝勝会で、フランスに行けなかつ  
た大勢のOB・OGと共に大声で歌うことを楽  
しみにしておこう!

(柔道部OB)

草場とも子 (平成8年卒)

マインドスポーツとして、五輪競技入りも期  
待される「麻雀」。20年以上、そのクリン  
さを訴える女性プロ雀士が館友にいます。

## 縁

「麻将連合」という団体の中で一  
番上のライセンス「認定プロ」の  
女性1号選手として活動していま  
す。  
一生大好きな福岡で過ごすだろうなと思っ  
ていた私が、大学卒業後麻雀と出会ってからは  
めまぐるしい展開でした。  
賭けない頭脳  
スポーツ「麻雀」  
を広めたい思い  
で、単身上京し  
麻雀修行開始。  
驚いたのは、少  
数精鋭がモツ  
トーのこの団体  
に、4年先輩の  
戸構亮さん(平成4年卒)が在籍していた事。  
これも縁と言えるでしょう。腰椎破裂骨折とい  
う大怪我の経験や、先輩の厳しい指導を受ける  
中で、弱かったメンタルはどんどん鍛えられて  
いきました。



しかし2013年に乳がん罹患、そして3年  
後には肺に再発転移してしまいます。麻雀とこ  
ろじゃない、死ぬかもしれないという状況でし  
たが、SNSで闘病をオープンに発信し続けまし  
た。そして最後のクルールの抗がん剤でポロポロ  
だった折に、通算4度目の優勝を決め認定プロ  
となりました。麻雀を通じて「諦めない心」を  
培い、そのおかげで病気に負けずに戦うことが  
できたのだと思います。  
その姿を見て力をもらった、という嬉しいお  
声もいただきます。幼稚園から通った福岡雙葉  
を去り修猷館へ入学した頃から、人と違う生き  
方でも自分らしくありたいという土台はできて  
いたのでしょうか。広めたかったクリンな麻雀  
は、ナショナルリーグ「Mリーグ」の普及でど  
んどん認知されて行っています。生涯の趣味と  
して、頭脳スポーツ「麻雀」を皆さんに推した  
いです。

(一般社団法人麻将連合認定プロ)

下のQRコードから、生い立ち  
や麻雀との出会いを語ったインタ  
ビュー記事が読める。脱稿後、草場  
さんは女性プロのトーナメント  
「プリンセス2025」を勝ち抜  
き、1月の対局がニコニコ放送で放映予定だ。



(ラグビーアナリスト・看護師)

東茉莉那 (平成28年卒)

私も楯円のボールを追いたかった!とため息  
のOGもいるのでは。第1号女子ラグビー部  
員は今、日本代表のアナリストだ。

## 手

男子7人制ラグビー日本代表の  
アナリストと看護師、という二つ  
の顔を持つ私の経験は、「手」とい  
う二つの言葉で結びついています。



会場となったスタジアム「スタット・ド・フランス」にて

修猷館高校ラグビー部の初の女子部員とし  
て入部した私のラグビー人生は、筑波大学で  
は看護学を専攻しながら体育会ラグビー部で  
アナリストの道へと進みました。東京オリ  
ンピックでは、日本代表アシスタントアナリス  
トとして帯同し、その初戦のフィジー戦で悔  
しい敗北を  
目の当たり  
にしまし  
た。選手の  
手からこぼ  
れ落ちた  
ボールが、  
試合の流れ  
を大きく変  
えた瞬間で  
した。  
東京五輪  
後、日本代  
表のアナリ  
ストを続け  
ながらチ  
ームドクタ  
ーが院長を  
している病院で看護師の道を選んだ私は手術業  
務を任されています。手術を控えた患者さんの不  
安を和らげるため、その手を握り、声をかけ患者  
さんを励まします。代表チームの合宿や大会の日  
には、看護師業務を離れ、ドバイや韓国など海外  
の大会にも帯同しアナリスト業務を行いました。  
そして迎えたパリオリンピック。結果は全敗  
でしたが、チームの絆を感じる瞬間がありました。  
大会後のルーティンで、全員で手を腰に回  
して円陣を組み、最後にハイタッチを交わす。  
その時の選手一人一人の手の触れ方や表情か  
ら、その時の気持ちが伝わってくるのです。

ラグビーのアナリストと看護師、一見異なる  
二つの仕事。しかし、「手」を通じて人の気持ち  
を感じ取り、寄り添うという点で共通していま  
す。この二刀流の経験は、私にとって人間理解  
を深める貴重な機会となっています。

川原武浩(平成2年卒)

『ふくや』は、オリンピックやプロスポーツの支援者だ。3代にわたる家業を背負いながら、同時代のアスリートたちに向ける社長のまなざしは温かい。

# 時

「長い時間軸の中での地域貢献」  
昨夏のパリ五輪女子卓球でメダルを獲得した福岡県出身の早田ひな選手を「ふくや」が支援し始めた時、早田選手はまだ中学3年生。世界ランキングは60位前後で日本人選手の中でも十番手以下の頃でした。

アビスパ福岡への支援も、J2降格時の2007年に開始。2011年には、J1開幕9連敗という厳しい状況の中ユニフォームスポンサーとなり、その後のクラブの成長をわずかながらも支え、一昨年にはルヴァン杯優勝という結果につながりました。

強い選手やチームには自然とスポンサーが集まりますが、どちらかといえば私共は将来性のある「原石」を長期的に応援し続けることに価値を見出しています。こうした姿勢は、スポンサーやアートに限らず、福岡サンパレスや石村萬盛堂といった地場企業の事業再生への取り組みにも反映されています。

とほい「ふくや」も地方の中小企業ですから、なかなかすべての支援要請に応えることはできません。それでも長い時間軸の中で、それらの取り組みが「福岡を元気にする」循環につながることを信じて、これからも微力ながら支援を続けていきたいと考えています。

(株式会社ふくや代表取締役社長)



アビスパ福岡への支援金贈呈式にて(中央が筆者)。ユニフォームスポンサーとは別に、ふくやで販売したアビスパ支援商品とアスリート支援商品の売上から、毎年150万円を超える支援金を贈呈している。



安東泰隆(昭和51年卒)

本特集を企画中、真っ先に名前が挙がったのが安東さんだ。お酒好きの羨望を集める垂涎のご趣味をお持ちです。

# 地

「地」の酒を求めて全国ひとり旅  
満60歳になった日に、これから毎年日本全国47都道府県をすべて訪問して地元の日本酒を味わおうと決め、これを実行し続けて今年で7周目となりました。

地元それぞれの野菜、魚介、肉、郷土料理なども旅の楽しみではありますが、中でも日本酒は地域ごとの伏流水、酒米、温度などの風土や酒蔵独自の製法も相俟って多種多様な味わいが楽しめます。「華やか」「フルーティ」「濃厚」「芳醇」「キレが良い」といった様々な表現ができるエキスのようなドリンクなのです。

地方ではたまにハズレもあるのが現実ですが、私の基本的な旅の楽しみ方は、街はずれの古い居酒屋のカウンターでご主人や女将さんとぼつぼつお話ししながらひとり旨い地酒の盃を傾けることであり、この幸福感は何ものにも代えがたいものがあります。

訪問した「地」でなければ味わえない景色、空気、水、料理、方言、人情……そして地酒。還暦以降に47都道府県×7年＝329回、様々な「地」を満喫してきました。これからは体力と財力の続く限り、自由気ままに好きなものを食べ、好きな地酒を飲み、好きな時間に寝るといつひとり旅を楽しみたいと思っています。

なお、いい地域、酒場、地酒を紹介してくれとよく言われるのですが、それぞれ好みがありますので、あえてこの場では申し上げません。とりあえずシャレとして、地酒は掲載写真の安東泰隆を構成する3本(青森、愛知、神奈川)をお試ください。

(日本酒愛好家)



原俊郎(平成9年卒)

修猷館の卒業アルバムが撮りたくて、杉田写真館へ——左の写真は、昨秋の研修旅行に随行して仕事の一コマだ。

# 絆

修猷を卒業後、フリーターになった。21歳でカメラが趣味になり、数年後にバイト先もカメラ量販店に。縁あって少年スポーツを専門に撮影する会社に移り、写真を撮る生活が始まった。

ある時、その職場で知り合った人に学校写真の手伝いを頼まれた。これが楽しくて「母校だったら、もっと楽しいんじゃないか？」と考えた。そこで浮かんだのが杉田写真館だ。ネットカフェで見つけた求人に応募した。



面接では真っ先に「なんでうちに来たいの？」と訊かれた。修猷を撮りたい、と答えて採用となり、10年続いたフリーター生活を卒業。29歳だった。最初の3年は苦しかった。杉田写真館で一番厳しい人が修猷の担当者だったからだ。その人の下で、撮った写真はボロクソに言われ、どう考えて撮ったのかと問いただされる。どこに気を配るべきか、何を見てどう予測するか、たくさん学ばせてもらった。

修猷で忘れられないのは平成26年の予餞会だ。マイクを持ったある男子生徒が「裏方ばかりやっている生徒は、写真も撮ってもらえない」と言ったのだ。カメラマンである自分に対する発言であることはわかった。すると彼の同級生たちが数十人、こっちに向かって「撮れ撮れ！今、こいつを撮れ！」としきりに合図を送ってくる。普段は使わないストロボを盛大に焚いて、何枚も撮った。滅茶苦茶ウケたけど、それ以降は「そう「みんなを撮ろう」と努めている。

この年、卒業アルバムのコンテストで、高校部門の金賞を獲った。当時、卒業アルバムに細かい写真をたくさん載せるのが主流だったが、修猷はその頃からカメラマンの裁量で作らせてくれた。平成28年には総合部門、幼稚園から大学までの約3000冊から大賞に選ばれた。平成21年卒の館友から結婚式の撮影に指名されたときは、この仕事をやってよかったと思った。杉田写真館のスタジオには、卒業生が家族写真を撮りに来る。修猷の校舎を歩けば、自分が教わった先生方もいる。これからも撮り続けたい。

(カメラマン)

林幸治郎(昭和50年卒)

鉦(かね)と太鼓を鳴らし続けて四十余年。吹奏楽部員だった林さんは、大阪を拠点に日本全国、海外にまでその音色と名声を響かせている。

# 想

私の仕事はチンドン屋、滑稽音曲鳴り物入り路傍広告業、明治の末から筋金入りの衰退業種(笑)。高校時代はもとより、大学に入ってから、ぼーっと夢想到耽る日々を送っていた。

そんなある日、チンドン屋の音に出会い、目が覚めた。ラッパの奏者は、元は無声映画の楽師だった人、彼の奏する魔性の音に惹かれて業界に入った。とはいえ、この変わった業種、いったい何なのだろうと想い続ける年月。すると、不思議なもので、私について興味津々な、様々な領域の方々が次から次へと現れて来た。いずれも、想念多き、求道の心を持った方々だった。

なかでも、大阪音楽大学の学長だった西岡信雄さんから、あらゆる楽器の起源は呪術の道具なんだよとヒントを頂いた。結局、私は、目に見える「チンドン屋」の向こう側に、中世に遡る芸術と呪術が不可分だった頃の歩く芸能の姿をずっと想起し続けていたのだ。現在においても、広告宣伝の観点だけでは捉えきれないチンドン屋の謎はそこにあると思う。

一昨年は、京都市立芸術大学にて非常勤講師、本年度は、京都文教大学にて非常勤講師を拝命、非才ながら勉強の日々、千秋萬歳、想い続けることに至福ありと感じている。

(ちんどん通信社リーダー・東西屋代表取締役社長)



寄つていかなね!

いずれも夜間営業が主。店休日、営業時間は各店のQRコードからご確認ください。

## 中目黒 シフレ sifflet

●東京都目黒区上目黒 3-12-4  
(中目黒駅から徒歩3分)  
TEL.03-6303-3797  
定休日:水曜



この1月に創業10周年を迎える、武井浩治さん(平成6年卒、バスケット部出身)が夫婦で切り盛りするイタリアン。ガラス張りのエントランスに洒落た店内、旬の美味しい料理とワイン、ビールの品揃えに定評あり。地下のフロアは大人数もおすす、1階にはカウンター席も。日祝は14:00から営業。

## こるでろ食堂

●東京都文京区関口 1-15-6  
(江戸川橋駅から徒歩1分)  
TEL.03-6265-0577  
定休日:月曜、第2・第4火曜



スペイン語で仔羊を表す「cordero」。その名の通り、ラム肉をおいしく食べさせるバルとして、本格スペイン料理、グリルやステーキはもちろん、カレー、カルパッチョ、餃子からメンチカツに至るまで、国境を軽々と越えるワイン居酒屋。オーナーは公文康隆さん(平成10年卒、バスケット部出身)。

## 新橋串揚げの店「夏色」

●東京都港区新橋 3-16-22  
(新橋駅から徒歩3分)  
TEL.03-5843-7294  
定休日:日曜・祝日



元サッカー部主将の澤木祐介さん(平成5年卒)が立ち上げた「リトル西新」。ふくやの「いか明太子」に始まり、熱々の串揚げから冷めのかしわめしまで、福岡弁の立ち込める中で心身満たされる。壁一面の高校・大学ユニフォームと、来店したお歴々の名刺コレクションは圧巻。

修猷大運動会  
不器用な伝統

運動会運営委員長  
3年 小田 悠生



第77回修猷大運動会が、無事閉幕しました。

2024年の大運動会では、スローガン「凌雲」を掲げ、歴代の大運動会を超えるという気概で、棒倒しの復活など、コロナ禍前の大運動会の良さを取り戻した上で、プログラムの大幅変更を行い、プログラムの大幅変更を行い、メンバーが観られるようにするなど、独自の取り組みも行ってきました。

大運動会の長という立場になり、真つ先に感じたのが、過去76回分という伝統の重さです。色々な先輩方の話を聞いてみても、そこには修猷大運動会という伝統を創り、守り、そして繋いできたというプライドがありました。

私が修猷館の伝統に感じるのは、「不器用さ」です。必ずしも万人受けするわけではないものもありますが、実際にそれを体験し、そこに懸ける人の想いを知ると、その意義を理解し、そこに夢になる。修猷の伝統には、体験した者にしか分からない良さがあるのだと思います。

今回の大運動会を経て、その伝統の意義を後輩に伝え、また、ただ伝統に乗っかるのでは無く、新しく伝統を作るような試みもできたのではないかと思います。

～福岡発～**修猷館の2024年**

修猷館の  
アメリカ研修

教諭 敷田 翔太

令和6年7月10日より7日間、アメリカ研修の引率を担当した。ユニオン・スクエア、スタンフォード大学、Pier 39、ゴールデン・ゲート・ブリッジ、メジャーリーグなどの視察、Google、Apple、ペガサス社などの企業訪問があった。

生徒にとって海外の地を肌で感じ、アメリカの規模の大きさや考え方の違いを学ぶという点でこのような視察・訪問は非常に価値のあるものだと考える。しかし、これは修猷館のみならず、他の高校で実施している海外研修でも学ぶことができるものである。

修猷館だからこそ、このアメリカ研修で学べるものは何であるのだろうかと考えた。それはやはり、修猷館のOB・OGの存在だと考える。それは「修猷館のOB・OGの方

がいるから」という単純な理由ではなく、今回のアメリカ研修のプログラムにもあったような、OB・OGの方とのディスカッション、座談会や、OBの方と共にグリフィス天文台を視察することができたことが理由である。生徒はこれらのプログラムから、過去の修猷館を知り、OB・OGの方の今の活躍ぶりを見て、未来の自分をイメージする機会を得る。さらに、専門分野に特化したOB・OGからその分野の説明・話を聞くことができる。これは修猷館だからこそだと感じた。生徒には修猷館というつながりで、たくさんお世話してくださるOB・OGの方がいるというこ

とへの感謝の気持ちを忘れず  
にいてもらいたい。

アメリカ研修を  
終えて

3年 真崎 瑞穂

人生初めての10時間を超えるフライトでアメリカに着いた。研修と観光を交えたスケジュールであったから目まぐるしく過ぎた7日間であった。

福岡で多くの外国人観光客を見るからだろうか、アメリカで肌や目の色が違う外国人に驚くことはなかった。驚いたのは日常的に話される言語の多様性と英語の中の多様性だ。

アメリカ第二の都市であるロサンゼルスは、メキシコと国境を接していることもあって人種が多様でネイティブに英語を話す人がかえって少ないくらいに感じた。様々な言語を母語とする人たちが英語を話すので発音も多様で、こ

れは訛りというよりも英語の特性の一つなのだろうと思った。世界的に有名な企業や大学を経験している方々のお話で必ず出てくる言葉は「AI」だ。人間の想像を超えるものをAIは生み出す。AIを活用することが世界最先端では求められるようだ。AIを規制する動きの方が強い日本では、思考の転換が必要だと思う。研修中にお聞きした話は今の自分とはかけ離れたものに思われるが、アメリカに親近感も抱くと同時に、可能性というものはどこまでもあることを感じた。このアメリカ研修での経験は、まさしく価値観や将来を変える経験であったと思う。



前列左端が敷田教諭、同左から4人目が真崎さん

アオハルデイズ

コーラス部現役生&OB  
岐阜に集合

応援やサポートには色々な形がある。たとえば昨夏、コーラス部が遠征して出場した第48回全国高等学校総合文化祭では、各地から駆けつけた館友たちが、福岡から遠く離れた地で現役生の晴れ舞台を堪能した。ここでは、その臨場感あふれる熱いルポを中京修猷会の機関紙『猷交』編集長 鶴田 康光(昭和59年卒)酷暑に見舞われた8月5日、文化部のインターハイである総合文化祭「清流の国ぎふ総文2024」合唱部門が開催されました。

遡ること数ヶ月前、「合唱の全国大会が中京地区であるげな。修猷の後輩たちが出るってじゃ。応援行かないけんばい」と幹事会で話題にあがりました。以降侃侃諤諤、やれ「横断幕で応援したい」「バスで中京地区ツアーに招きたい」「夕食会で名古屋飯をご馳走したい」「差し入れに地元のお菓子を渡したい」などなど修猷愛が暴走しましたが、顧問の元石隆英先生ともご相談し、待ち時間に面会し激励と欲談をすることに落ち着きました。

当日は東京からの合唱部OBの先輩方も合流し、会場ロビーにてコーラス部の後輩達と語り合う時間をもてました。



コーラス部OB・OGと現役生一行。2列目黒いスーツの男性が顧問の元石先生

コーラス部第48回全国  
高等学校総合文化祭出場  
教諭 元石 隆英

我が修猷館の出番は40校中38番目。まるでオペラハウルのような会場の客席最上段で、次々と演奏される他校のピアノ伴奏と大人数による素晴らしい歌声に感心させられながら、後輩達の出番を待ちます。

ついに修猷館の出番。学校紹介の二人の掛け合いに和まされ、いざ演奏。「伴奏が無い! アカペラ!」と思ったのも束の間、少人数ながら圧倒的な歌声の美しさと表現の豊かさに心が震えました。演奏後の一瞬の静寂の後、会場全体から割れんばかりの歓声と拍手。この暑い中、はるばる来てくれて、こんな素晴らしい歌声を届けてくれた若き館友達に感謝します。皆がこの機会を大いに楽しんでくれていたら幸いです。

合唱部門では全国大会での順位づけはありませんが、審査員の方々は絶賛のコメントをいただきました。今回の経験を今後の活動に生かしていきたいと思えます。ありがとうございました。

創部130周年  
お祝いラッシュなるか

昨年は修猷館創立240周年、ラグビー部は100周年の祝賀で沸いた。そして柔道、剣道、野球、陸上——これが今年、創部130周年を迎える年活動だ。記念イベントを計画するOB・OG会もあるようだし、全国大会連連のヨット部など運動部、吹奏楽部をはじめとする文化部、ほか様々な部活動に目を凝らしたい。なお、学校は個人の寄付金を受け付けていない。必ず同窓会または各部OB・OG会を通すことをお忘れなく。

2年生が  
東京にやってきた

去る11月12日(火)、2年生一行が研修旅行で上京し、滞在した両国のホテル隣接施設でOB・OGとの交流会を開催した。大小の会議室が占めるフロアを、両者が回遊。OBらの掲げるプロフィール(職業・得意教科・大運動会での幹事名など)を見て、生徒が先輩に話しかける、という形式は生徒らが提案したものだったとか。会場はサウナのような熱気が立ちこめ、若人たちがとふれあった東京修猷会有志らも笑顔だった。



終会間際、挨拶に立つ等会長

# 校医が見た修猷生

親子2代にわたって修猷の歯科校医を務める川村啓造さん(S40年卒)と、息子の隆造さん(H4年卒)。今年卒業60周年を迎える啓造さんは、同窓会常任幹事としての活動歴も長く、「幹事長として東京修猷会の総会に出席したご縁もある」と取材を受けてくださった。隆造さんは現在ご長男が修猷3年生。引退したばかりという野球部が、秋季大会ベスト8を懸けた試合の最中に西新のクリニックでお話を伺った。

——校医になられた経緯は？

啓造さん(以下「啓造」) 平成6(1994)年に前任だった先生が亡くなって、養護の先生や館長と面識があった私に話が来ました。修猷の校医は内科・耳鼻科・眼科・歯科、全員が修猷の卒業生なんです。

隆造さん(以下「隆造」) 父はPTA会長もやりました。

啓造 隆造が入学した翌年からPTA会長を仰せつかりました。後期高齢者になって、隆造の長男が修猷に入ったのを機に、校医を引き継ぎました。

隆造 令和4(2022)年までが父、僕は翌年から校医です。僕より上の先生方もいらっしゃるから躊躇したんですが、息子もご縁があったので、その彼もこの夏、野球部を引退して受験生です。

——校医のお仕事とは。

啓造 年1回の検診と、校医が集まる保健委員会ですね。

隆造 体育の時間に歯が折れたとか、そういった怪我人の対応もあります。

——歯科検診は、生徒全員がお世話になります。

啓造 3学年1200人を一

日で検診しますから、協力医を呼ぶんですが、全員が修猷卒。それを集めるのも校医の役目といえそうです。

隆造 検診の記録係は生徒がするんですよ。簡単じゃ簡単なかもしれないけど、学習能力が高い。養護の先生もそうおっしゃってました。

啓造 受ける側の生徒も、ものすごく段取りがいい。あっち行きこっち行き、次はどっちに行つて——なんて、番号札



白衣を着た啓造さんと、息子の隆造さん。アポなしで駆けこんだ編集者に、翌日の昼休みを割ってくださった。

なつて、他とは違うと思われ

ることは。

啓造 お口の中が綺麗です。清掃状態がいいし、全国平均と比べても虫歯の罹患率が極端に少ない。30年前、校医になった時から感じていました。

保護者が、勉強をさせるだけではなくてきちんとケアしてあるんじゃないかな。歯28本を見られないかんけど、検診は本当にラクで「ああ、なんも無いねえ」で終わります。

隆造 僕も実感してます。公立中の校医もしています。

啓造 矯正自体が完了している生徒が多い気がしますが、虫歯がいっぱいの子がいれば、歯科医は虐待を疑わなくちゃいけないと言われているし。検診では、うちのクリニックに来るとつたよねーという子がチラホラいるので「修猷に入る子は幼少期

まで持つてきちつとやります。隆造 校医と協力医の計10人で、検診が3時間で終わりますからね。クラス毎ではなくて各々自主的に回るので、生徒も自分の時間を無駄にしたくないみたい(笑)。どこか空いてるかとか、ものすごく考えて動いているみたいです。

——修猷生の歯を長年ご覧に

聞けば、啓造さんのお父様も歯科医師、弟の康太さん(S44年卒)も小児歯科専門医だったそう。お口の中を覗けば、未来まで占えそうだ。この日、野球部はコートで勝ち、その後ベスト4入りした。



## ディベート部、政策甲子園で入賞

2001年、修猷館のディベート同好会が「ディベート甲子園」で優勝した。2002年には「ディベート部」に昇格し、ディベート甲子園をはじめとする全国大会に25回連続出場。現在では上位入賞の多い強豪校として全国に知られる。

2024年夏は同部の自由政策班が、東京・国会議事堂で開催された「政策甲子園」決勝大会に出場した。チームで練り上げた政策案を、ディベートではなく文章やグラフなどを示しながら発表する、いわば演説会だ。

エントリーした自由政策部門のテーマは「私が総理大臣になった時の一丁目一番地!」。勝敗はインターネット投票で決まるとあって、OB OGの間でも話題になった。遡ること100年余り、大正6年に弁論部を立ち上げた館友たちは、泉下でさぞ喜んでいらしたことだろう。

## ディベート部部长 2年 大村 宙

私達ディベート部は、6月から8月にかけて開催された「全国高校生政策甲子園大会」に出場し、「日本青年会議所会頭賞」を頂きました。高校生が社会の課題に対する提案を持ち合い、その説得力などを競う大会です。決勝大会では一般の方のLINE投票も審査方法になっていました。応援・投票して下さった皆様、ありがとうございました。

私達の提案内容は、「物流の再編と効率化」でした。物流の2024年問題に着目した提案で、選挙関連の提案が多い中、異色の存在でした。福岡県トラック協会にも取材に赴き、高校生が物流に関心があることに驚いておられるようでした。

西日本大会、決勝大会においても、プレゼン及び質疑応答を自信をもってやり遂げました。

私達は、今後も様々な大会に出場し、結果を積み上げていきたいと考えています。政策甲子園大会には来年も出場する予定なので、決勝大会に出場が叶いましたらぜひ投票のご協力宜しくお願い致します。



政策甲子園 ホームページ

中央が筆者の大村部長

## 館友の本

### 『2028年 街から書店が消える日』

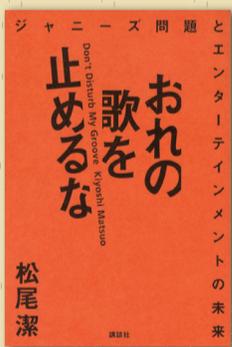
減少の一途をたどる書店の未来について、出版業界・書店界に身を置く約30人に聞いたインタビュー集。著者は出版取次の大手を経て、地方の書店立て直しの現場も踏んできた経営コンサルタント。購入はもちろんお近くの本店さんへ!



小島 俊一 (昭和51年卒)著  
プレジデント社刊 1,870円

### 『おれの歌を止めるな』

音楽プロデューサーとして輝かしい業績を持つ著者。社会問題について声を上げ続けることでも知られ、世間を揺るがしたジャニーズ問題にもその筆が止まることはなかった。弱者を置き去りにしないエンタメ界を希求する、勇気の一冊。



松尾 潔 (昭和61年卒)著  
講談社刊 1,760円

### 『学歴の専有と意味』

修猷館を「名門伝統校」の典型として大々的に取り上げた一冊。部活動や同窓会など、長きにわたる取材を基に、他に優る「名門」たらしめている機能・要素を考察し、学歴の構造・正体に迫らんとする労作。豊富な事例が読ませる。



黄 順姫 著  
学文社刊 2,750円

人口減社会の中で人材の確保は多くの分野の課題となっているが、国を支援、行政実務を担う国家公務員として多様な有為な人材を確保することは、極めて重要であることは論を待たない。しかし、その現状には厳しいものがある。これは事実である。「公務員離れ」として、採用試験受験者数の中長期的な減少、特定の大学卒業者の採用者の減少、その背景として民間のトップレベルと比較した場合の相対的な給与水準の低さ、長時間労働の実態などが指摘されている。

人事院では、近年、広範な改革に取り組んでいる。例えば、若手職員の給与、特に初任給の大幅な引上げ、人材確保のための採用試験改革、フレックスタイム制の更なる柔軟化、長時間の超過勤務是正のための取り組み強化などである。各府省においても危機感共有され、人材の確保や育成には、かつてないほど注力がなされている。

霞が関の現状は、前述のようにネガティブに報道されることが多く、それは処遇の改善や働き方改革への追い風となる面は確かにあるのだが、経験者からすると一面的に過ぎると感じることも多い。国家公務員に限らず、仕事、人生、やり甲斐と苦勞に関する実相は複雑であり、個人差もある。私としては、新年のこの貴重な機会に、以下を強調したい。

まず、国家公務員は、国家の屋台骨を支える唯一無二の仕事であり、志をもってそれを目指す人たちは健在である。幹部職員を含む多くの職員は、使命感をもち責任を自覚して職務に精励している。毎年多くの有為な若者も採用されている。これらは、長年仕事を共にしてきた実感である。近年は、経験者採用にも多くの府省が取り組んでいるが、かつて役所に在籍していた者が民間から復帰する場合も含め、自己の知識・経験を(再び)国のために役立てたいと考える人たちが多く存在している。

その志を共通認識として業務の中で継続して生かしていくためには、人事院も自ら取り組んでいるようにM.V.V(ミッシェン・ビジョン・パリュール)の策定など、組織の使命、目標、方針などを言語化して共有していく取組みも必要であろう。そして、何よりも、こうした人たちが相応の処遇を得て、継続的に勤務できる環境整備に

## 館友時報

# 国民の幸せのために

### ～多様な才能が集い磨きあふ公務～

人事院人事官 土生栄二 (昭和56年卒)

取り組むことが重要である。近年の取組みは、成果を挙げはじめている。直近2か年の総合試験の申込者総数は微増に転じ、本府省の平均の年間超過勤務時間数は令和5年に初めて減少している。給与面では、約30年ぶりの高水準となる今年度の人事院勧告の実施により、例えば総合職大卒の初任給はさらに引き上げられ、労働市場で競争力のあるものとなるだろう。今後も、オンライン試験の導入、職員のキャリア形成の支援、仕事と生活の両立支援の充実、能力実績主義の徹底などに取り組むとともに、官民給与の比較対象となる企業規模も検討を進めることとされた。霞が関の変化は始まっており、今後も加速するだろう。

もちろん、例えば大規模な災害への対応、大きな制度改革など、ここぞという場面では日常以上の気合い、尽力が求められることは変わらないが、何かをなすとげるためには、誰かがきつことにも耐えていかなければならないのであり、その先には大きな達成感もある。館友であれば、自明のことであろう。その負担が、個々の職員に過重なものとならないようにしていくことが重要である。日本人、仲間たち、とりわけ若い世代の心意気を信じ、それが生かされる環境を時代に応じて整備していけば、未来はきっとあると考える。

虫、微生物まで保全に努めたこと。その後の環境アセスメントのモデルになったようです。道路の両側に植えた広葉樹の樹冠がトンネルのようで、入社3年目の汗が見事に結晶しています。

大修理が進み輝きを増した日光東照宮では陽明門などを久しぶりに堪能しました。一泊組は豪華な列車で宴会気分です。二泊組の最終日は鬼怒川ライン下りが加わりました。

卒業以来の出会いや、初めて言葉をかかず相手と隣り合わせになったり、永年の知り合いながらも仕事の内容を詳しく語り合う場面も。身体の不調、相続の悩

昭和49年卒「4649(よろしく)会」の「卒業50周年&古希イベント」に全国からのべ80人が参加しました。仕事との調整、家族との調整その他に対応すべく宴会単独から旅行含むフルコースまで選べます。

9月28日(土)に浅草でお昼の宴会、次の日は浅草観光組、日光江戸村組、ホテル直行組に分かれ、鬼怒川温泉に向かいます。

翌朝は華厳の滝へ。バスの中で有料道路建設に携わった同級生がガイド役です。表土を戻し植生、土中の種や、昆虫

昭和49年卒「4649(よろしく)会」の「卒業50周年&古希イベント」に全国からのべ80人が参加しました。仕事との調整、家族との調整その他に対応すべく宴会単独から旅行含むフルコースまで選べます。

9月28日(土)に浅草でお昼の宴会、次の日は浅草観光組、日光江戸村組、ホテル直行組に分かれ、鬼怒川温泉に向かいます。

翌朝は華厳の滝へ。バスの中で有料道路建設に携わった同級生がガイド役です。表土を戻し植生、土中の種や、昆虫

### 2024年度寄付金

2023年11月1日から2024年10月31日までに多数の皆様から御寄付をいただき、ありがとうございました。御礼の意味を込めて、御名前を掲載させていただきます。(※敬称略・個人/団体・卒年別)

- 【個人】**
- (S27) 金田久仁彦、(S28) 吉見健三、(S30) 遠山壽一、(S31) 伊達直哉、(S31) 村田和夫、(S31) 中川庄司、(S31) 中村保夫、(S31) 箱島信一、(S31) 板垣征男、(S32) 大里恵子、(S32) 鳥居健太、(S32) 米満侃、(S32) 國分英臣、(S33) 貫隆夫、(S33) 山口浩利、(S33) 寺澤美和子、(S33) 瀧口勝、(S33) 武石忠彦、(S34) 行武賢一、(S34) 讀井邦夫、(S34) 服部富美子、(S35) 可児晋、(S35) 三嶋睦夫、(S35) 寺田祥治、(S35) 豊田康夫、(S36) 横倉稔明、(S36) 丸山忠夫、(S36) 土井高夫、(S37) 小野寺夏生、(S37) 大須賀頼彦、(S38) 上田茂、(S38) 並木徹、(S39) 貝島資邦、(S39) 久保田康史、(S39) 松本陸彦、(S39) 進藤美美、(S39) 長正次郎、(S39) 田中滋章、(S40) 遠山昌利、(S40) 山形紀明、(S41) 安田修之助、(S41) 桑原 昭二、(S42) 石川透、(S43) 三條彰久、(S44) 安武和昭、(S44) 伊佐裕、(S44) 甲畑真知子、(S44) 坂井真知子、(S45) 古賀純治、(S45) 等健次、(S45) 本田由紀子、(S46) 栗山英俊、(S46) 山内規義、(S46) 鹿兒島正信、(S46) 森山幹夫、(S46) 中村伸生、(S46) 土肥研一、(S47) 田辺宣孝、(S48) 赤司篤之、(S48) 高山信彦、(S49) 井手富士雄、(S49) 橋村秀喜、(S50) 橋詰真義、(S50) 佐藤信介、(S50) 野中哲昌、(S51) 安東泰隆、(S51) 下川公明、(S51) 加藤純一、(S51) 久保田馨、(S52) 山崎養世、(S53) 上蘭勉、(S53) 大山毅、(S54) 中原誠也、(S56) 鶴泰治、(S57) 安部哲也、(S57) 遠藤亜子、(S57) 遠藤功暁、(S57) 小林大輔、(S58) 井手慶祐、(S59) 服部豊、(S60) 山根堅司、(S60) 友枝城太郎、(S62) 田尻公一、(H1) 古田恭子、(H3) 河村新一、(H4) 藤村英樹、(H5) 澤木祐介、(H8) 波多江崇史
- 中神智文館長、吉永高広先生
- (※過年度分として(S57) 小林大輔 追加記載)

**【団体】**  
昭和52年卒「ごじゆうに会」、修猷館同窓会、近畿修猷会、中京修猷会

### 東京修猷会 年会費納入のお願い

東京修猷会の会報制作はじめ、年間行事等の活動は、すべて皆様の年会費3,000円で運営されています。  
●年会費は年間を通じて受付けておりますので、どうぞ年会費納入にご協力ください。  
郵便振替、銀行振込、コンビニ振込、クレジットカード決済が選べ、總會、二木会の受付でも承ります。

**郵便振替** □座名義：東京修猷会事務局 □座番号：00170-6-172892

**銀行振込** 銀行名：ゆうちょ銀行 □座名義：東京修猷会事務局  
店名：〇一九(ゼロイチキュウ) 店番：019  
預金種目：普通 □座番号：0172892

**コンビニ振込** 同封の振込用紙をご利用ください。

**クレジットカード決済** 東京修猷会のホームページからお申し込みください。



お振込みのうちの年会費を超える額は、ご寄付とさせていただきます。郵便振替・銀行振込は会員の特定が困難な場合がございます。和暦頭文字(T.S.H.R)と卒年を入れてください。

### 昭和49年卒 学年便り

中島修/井手富士雄 (昭和49年卒 4649会)

昭和49年卒「4649(よろしく)会」の「卒業50周年&古希イベント」に全国からのべ80人が参加しました。仕事との調整、家族との調整その他に対応すべく宴会単独から旅行含むフルコースまで選べます。

9月28日(土)に浅草でお昼の宴会、次の日は浅草観光組、日光江戸村組、ホテル直行組に分かれ、鬼怒川温泉に向かいます。

翌朝は華厳の滝へ。バスの中で有料道路建設に携わった同級生がガイド役です。表土を戻し植生、土中の種や、昆虫

み、孫育て、美味しいもの、福岡の様子：話は尽きません。

修猷館には修学旅行はありませんでした。そのリベンジに2009年に「京都修学旅行」2016年には還暦記念第2回修学旅行「富士山修遊の旅」、2022年は「修猷館福岡修学旅行」(修猷館の見学とバスツアー)と続けてきました。さて次は？ 電車の中では様々な企画が練られていたようです。



このたび副幹事長を拝命しました。主には福岡県人会と会計を担当いたします。高校の頃は運動会の幹部等もなかった私ですが、總會・二木会の幹事学年での活動を通じて、多くの素敵な出会いがあり、老後への不安がなくなりました！

東京修猷会が皆さまにとって良き出会いの場であり続けられるよう微力ながら尽力いたしますので、よろしくお願ひ申し上げます。

### 執行部新役員紹介

志保澤隆幸(平成33年卒)

令和6年6月23日、相談役藤吉敏生氏(S26卒)が満92歳で逝去されました。

年代の別なく語りかける徳望高い人柄は気概に満ち、後進には考える機会を下さいました。東京修猷会の安定と発展を願う偉大な先輩でした。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。



### おくやみ

令和6年6月23日、相談役藤吉敏生氏(S26卒)が満92歳で逝去されました。

年代の別なく語りかける徳望高い人柄は気概に満ち、後進には考える機会を下さいました。東京修猷会の安定と発展を願う偉大な先輩でした。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

**編集後記** 会報第2号(第10号)第12号(第14号)を探しています。東京修猷会ホームページでは全号のデジタル版を公開していますが、紙面をそのまま閲覧できるのは第23号以降のみ。今回、編集者特権で原本に触れて面白さに感激し、第22号以前の紙面公開を目論んでいます。複写後ご返却しますので、お持ちの方はご一報を。(H9卒・九猷会)